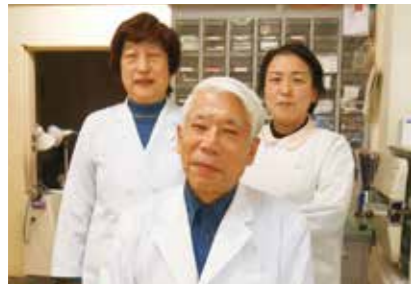


# 連携医院のご紹介

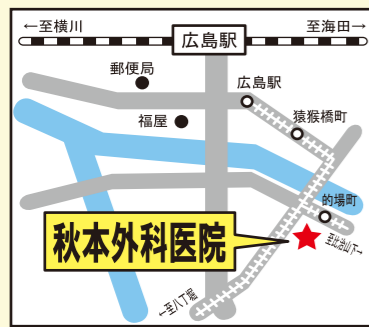
今回は「最高の教師は患者様である」を座右の銘に、患者さんから学ぶ姿勢をとって大切にしておられます、秋本外科医院 秋本武彦先生です



秋本武彦先生

## 秋本外科医院

〒732-0824  
広島市南区的場町1-7-21  
電話/082-261-4663  
院長/秋本 武彦  
診療科目/整形外科・消化器科・  
外科・皮膚科・肛門科



### ○いつ開業されましたか。

昭和59年12月から、外科医の父親が開業した所で後を継ぎました。私の専門は整形外科ですが、勤務医時代は長く病理に携わっておりました。

### ○毎日の診療で大切にされていることは何ですか。

「患者さんにとって一番適切な治療は患者さんから学ぶ」ということです。患者さんは生活の中で、医療面以外にも多くの悩みや苦悩を抱えています。その解決に少しでも貢献できるよう、患者さんの生活全体に目を向けて治療を考えることが最も大切であると、長年の診療を通じて気づきました。また、このことは、私自身が年齢を重ねていく中で、もっと「人のために尽くしたい」と考えるようになってきたことも影響していると思います。

### ○開業医のやりがいは何ですか。

患者さんのことを考えるだけで精一杯ですから、やりがいとか、何かを求めようとは思って

おりません。「尽くす」という一方通行で良いと思っております。ただ、考え抜いて伝えた事が患者さんに伝わったと感じられた時は嬉しいですね。

### ○県病院にひとこと。

広島県の基幹病院である県病院を頼りにしております。

当院には19床のベッドもありますので、入院での受入も含めます。連携を深めていきたいと思っております。



秋本外科医院外観

### 【取材後記】

秋本先生のお話には迫力があり、医療従事者として大切なことを改めて教えていただきました。入院、通院相談ともに、いつも親身になってご相談に応じてくださる秋本先生。これからも、よろしくお願ひいたします。

# もみじ

県立広島病院 〒734-8530 広島市南区宇品神田1丁目5番54号

※県立広島病院の様々な情報をホームページへ掲載しています。  
県立広島病院 で検索 (URL: <http://www.hph.pref.hiroshima.jp>)

理念：県民の皆様にあわれ信頼される病院をめざします

## 200医療機関と連携!!

達成



KBネット担当スタッフ

### 参加医療機関に聞いてみました! KBネットを利用すると...

#### 医院では

検査結果だけでなく、医師をはじめその他すべての職種の記録まで見られることで、紹介した患者さんの県病院での治療内容や様子がよくわかり、退院後の治療計画やフォローアップにとっても役立っております。かかりつけ医と県病院が「共同で治療にあたっている」と感じます。

#### KBネットで

24時間、365日カルテを参照できるので、いつでも患者さんの診療状況を見ていただけます。新しく歯科医院との連携も始めました。



木矢院長

#### 県病院

#### 野島内科医院



野島院長

#### 病院では

当院では、急性期の治療を終えた回復期における患者さんのリハビリテーションが中心となるため、急性期からの経時的変化を把握できることが効果的なリハビリテーションや合併症の管理に役立ちます。経過に関する詳細な情報を得られることがKBネット最大のメリットで、特に、画像をすべて見られるのが良いですね。

#### 西広島リハビリテーション病院



佐藤先生

KBネット 接続医療機関一覧は、ホームページに掲載しています。

## 県立広島病院からのお知らせ

### 5月のがんサロン

- 開催日 平成27年 5月 27日(水)
- 時間 14:00~15:30
- 場所 新東棟2階 ラウンジ
- 内容 交流会ほか
- 対象 悪性腫瘍(がん)で通院 または 入院されている患者さん 及び そのご家族
- 問合せ先 地域連携センター  
TEL:082-256-3562  
(担当:佐々木)

### 平成27年度 緩和ケアボランティア講座

- 開催日 平成27年 5月25日(月)・26日(火)の2日間
- 時間 9:00~16:00(受付:8時45分~)
- 場所 新東棟2階 総合研修室
- 申込期間 平成27年5月11日(月)まで
- 申込方法 電話、FAXにて受け付けます。  
※詳しくはホームページでご確認下さい。
- 参加費 無料
- 対象 2日間受講できる方が対象です。
- 問合せ先 緩和ケア支援室(担当:櫻井)  
TEL:082-252-6262  
FAX:082-252-6261  
mail : hphkanwashien@pref.hiroshima.lg.jp

県病院を利用される方へ(外来・見舞い)

### イオン宇品店から無料バスが利用できます

当院駐車場の混雑緩和のため、イオン宇品店様のご協力により、イオン宇品店の駐車場が利用できることになりました。イオン宇品店から当院まで無料送迎バスをご利用できます。

- ◎平日のみ運行(土・日・祝日、12/29~1/3は運休)
- ◎運行時間:午前8時~午後4時
- ◎運行区間:県病院→イオン宇品店(1日18往復) 県病院→御幸橋(1日8往復)

問合せ先 管財課 TEL082-254-1818(内線 4214)

## KBネット

現在の参加医療機関 (4月23日現在)

# 202

機関

問合せ先 地域連携センター  
電話(082)252-6228(直通)

安全でおいしい術後食を目指して



## 手術後の食事に対するこだわり

消化器外科医のこだわり



消化器外科部長 鈴木 崇久

突然ですが“術後食”と聞いてどのようなメニューを想像されますか？“術後食”とは手術の後から通常の生活に戻るまでの“回復期食”と、退院後の“慢性期術後食”に区別されます。今回は“回復期食”についてのこだわりをお話します。

これまで胃や腸の手術を受けた患者さんは、重湯・3分粥・5分粥・7分粥・全粥・軟飯・常食と少しずつステップアップする食事を提供されてきました。最近、世界的に術後食の見直しが進み、術後の食事の開始時期が早まり、ステップ数も少なくなる傾向にあります。実は僕自身“おかゆ”は好きではありません。患者さんからは、おかゆに対して「嫌い・食べにくい・我慢して食べている」という感想をよく聞きました。食事は菓のように苦いのがよいのではなく、おいしく食べていただきたいものです。もちろん体に負担を与えるメニューはいけませんが、学校給食のように「今日のメニューは何だろう？」と食事を楽しみにしていただけるような“術後食（回復期食）”を目指しています。当院では管理栄養士が中心となって術後食の大改革を行いましたのでご紹介させていただきます。

管理栄養士のこだわり



管理栄養士 田中 美樹

私達は「おいしく 安全で 治療効果の高い食事」の提供をモットーに「こんなメニューが食べてみたい！」「これなら自分でも作れる！」と頑張っているような病院食を目指しています。今回、術後食の改良は患者さんの食事に対する不安が解消できる、自信をつけて退院できる、退院後の体重減少を防ぐことができる食事を目指して献立を考えました。近年では体重減少の中でもストレスや活動量の低下による“筋肉の減少（サルコペニア）”が術後の栄養状態に影響すると注目されています。筋肉の減少を防ぐには十分な栄養が必要ですが、特に魚、肉、卵などの良質なたんぱく質を積極的に摂る事です。また青魚に多く含まれる油（魚油）も有効です。そこで、それらの食品を術後早期から取り入れました。ごはんを少しずつステップアップすることは中止して、代わりに栄養価が高く術後早期でも食べやすい間食メニューを取り入れました。食事がおいしいと元気が湧きますよね。これからもよりいっそう“おいしい”を皆様にお届けできるよう管理栄養士、調理師みんなで頑張ります！入院中、退院後の食事もしっかりサポートしていきますので、これからもよろしくお願いいたします。



胃切除後の間食メニュー



チーズサンド

食べやすい一口サイズ！食べられるタイミングに♪

胃切除後の間食メニュー



オレンジフレンチトースト

食べやすいと好評です♪

## － 忙中献血 －

某日の夕方、先輩の誘いがあり流川に飲みに行くことになりました。待ち合わせの時間まで余裕があったので、本通りで時間つぶしをしようと電停に降り立った時のことです。すぐに献血ルームが目に入り「あれ？最近献血をしていないな」という後ろめたさに襲われました。確かに若い時にはよく献血に行っていたのですが、最近は何故かご無沙汰、善意の献血がなければ輸血ができないということも承知の上で手術をしているのですが…「よし、久しぶりに献血をしよう！」と献血ルームに入って行きました。時間は午後6時20分、受付のお姉さんに献血に来た旨を伝えました。今まで献血をしたことはあるかと聞かれて「もちろん！」と胸を張って答えたのですが、さて、いつ献血をしたのかも覚えておらず、献血カードも持っていない始末で迷惑なおじさんです。しばらくして受付のお姉さんから「この20年は献血されていませんね」と言われてモゾモゾ「いやぁ献血しなくちゃいけないと思いながらつつい…すみません」この時既に6時30分、まあ約束の時間まで30分あるからと安心していたのですが、今から問診、採血、その結果が良ければ献血、後は少し安静にしなければならないので40分から50分はかかるとの事でした。「それは困る、用事があるので10分ぐらいで済ませてくれ」と我儘なお願い、脅迫？本当に迷惑な献血者となってしまいました。受付のお姉さんも、忙しいなら来るな、時間に余裕がある時に来い、と思っていたかもしれませんが、それでも嫌な顔一つせず「お急ぎなら次の機会にされますか？」と仰っていただきましたが、ここまで来たら引き下がれないので「できるだけ早く」とお願いして問診室に案内されました。

しかし、奇遇というかラッキーというか、何と問診していた医者は大学時代の同級生だったので

す。おかげでここはフリーパス、5分くらいは得したかもしれません。ただし、さすがにその後の血液検査は省略できず大人しく検査結果を待って、いよいよ400mlの献血。ここで看護師さんが色々丁寧に説明して下さったのですが、この時点で6時45分。ついに「私は医療従事者ですから大丈夫です」と言って後の説明を省略してもらいました。なんと迷惑な献血者、申し訳ありません。でも先輩との約束時間に遅れてしまっは失礼この上ないわけです。400ml採血は血圧が下がってはいけなないので、10分以上かけて採血するらしいのですが、針のささった側の拳をぎゅっぎゅっと握り続けて5分間で済ませてしまいました。献血が終わって色々注意事項を説明しようとしていたのは分かったのですが「すみません急いでいるので」と言って、上着を手にとって献血ルームを出ようとする私の背後から看護師さんが「2時間はお酒を飲めませんよ！」と大きな声で注意してくださいました。「ええー？ちょっと待って、ちょっと待ってお姉さん、今日は飲み会なんですけどー！」と心の中で叫びながら本通りを駆け抜け、先輩の待つ飲み屋に7時きっかりに到着しました。もちろん2時間どころか着いてすぐにぐいっと1杯、心なしかいつもより酔いが早く回ったような気がしました。

献血ルームの皆さん、あの時大変ご迷惑をおかけしましたオヤジは県病院の外科医です。本当に申し訳ありませんでした。次回はもう少し余裕を持って行かせていただきます。もちろん飲み会ではない日に…。



副院長 (消化器・乳腺・移植外科主任部長) 板本 敏行(いたもと としゆき)

## 県病の星 小児看護専門看護師

私たちは、病気を持つ子どもたちと家族のさまざまな問題を、医師や看護師、その他の職種の方々と一緒に考え、解決していく役割を持っています。小児科病棟や小児科外来にとどまらず、救命救急センターやNICUなどの集中治療の場や、産科病棟や産科外来、耳鼻咽喉科外来など子どもたちや家族に関係するあらゆる部署にかかわっています。

さらに病院外でも看護師を対象とした子どもや家族の看護に関する講演や研修を開催しています。

広島県では、いろんな病院が子どもの医療を分担しています。他の病院の小児担当の看護師とも協力、連携し、広島県内の子どもたちのケアの質向上に貢献できるよう橋渡しを行い、子どもたちの健康や、養育されるご家族の支援に貢献できればと思っています。



原田看護師



中村看護師